

夢の力

川島中学校 進路通信

H17.4.20 NO.1

進路指導主事：真鍋

夢には力がある

3月の中旬に1週間ほど「ビレッジ」にサッカーの合宿に行ってきました。日本中から選ばれた中2と中1の選手が参加する合宿です。現時点で日本代表に一番近いところにいる中学生の集まりです。

その時のミーティングで聞いた言葉が『夢には力がある』です。

進路とは、見ての通り「進む路（みち）」と書きます。「どこへ進む路（みち）か」といえば、将来の自分の夢につながる路（みち）です。

路は1本ではなく、何本もあります。しかし、進める路は1本だけです。しかも、その路へ進むには、扉を開けなければいけません。そして、その扉は自動ドアではなく、自分の力で押し開けなければいけません。ひょっとすると自分が進みたいと思う路への扉は大きく、分厚く、重い扉かもしれません。

でも心配はいりません。夢には力があります。どんな扉であっても、その向こうには夢への路が待っています。これから精一杯の努力を積み重ね、中学校卒業後には、ひとりひとりが見事に「夢への扉」を押し開けられることを願っています。

「進路」とは人の「生き方」であり、毎日の生活の延長線上にある

進路は高校や就職先を決めることではありません。人が夢の実現のために、どんな生き方をするのかを考えることであり、実際に行動することです。そしてそれは、毎日の生活の延長線上にあります。当たり前のことですが、進路はある日突然決まったり、目の前に開けたりするものではありません。夢の実現のために、今を精一杯生活することが進路を切り開く力になります。また、機会をとらえて「生き方」について調べたり、考えたり、家族や仲間と話し合うことではっきりしてくるものです。家庭訪問や進路説明会、高校のパンフレット、3年生で言えば夏休みには高校見学会もあります。この進路通信も一つの「機会」にしてください。まだまだ「知ること」や「話題にすること」で進路について視野や考え方を広げる時期です。少しでも多くの機会をもってください。

今を精一杯生活することについて、2つのことを大切にしてほしいです。

1つは、こつこつと努力を積み重ねることです。宿題や予習以外の自主勉強を家庭でするとき、1日1時間で1年間およそ300時間。5教科で割れば、1教科60時間しかできません。この時間は決して多くありません。しかし、宿題や予習以外に1時間の「自主学习」が出来ていない人が多いのも事実です。家庭での時間の使い方を振り返り、こつこつと努力を積み重ねる時間をつくりたい。

2つ目は、毎日続けるということです。努力を続けられるのは立派な才能です。毎朝7時30分に来て、部活動に参加している人が多くいます。社会に出たとき、「時間を守る」ことが何よりも大切であり、休まない・さぼらないことは他からの「信用・信頼」につながります。みんなが4月はじめに書いた決意を見てみると、頑張りたいことの多くは積み重ねる「小さなこと」だと改めて気づくはず。続けることは信用・信頼だけでなく、「自信」につながります。

今朝は、部活に参加しましたか？ 充実ノートを出しましたか？